

新ましこ未来計画外部検証委員会（人財育成）議事録

日時	平成 28 年 11 月 14 日(月) 18:55～20:40	
場所	役場 職員休憩室	
出席者	委員	鮎沢委員、加藤委員、久野委員、森田委員
	職員	岡教育長、小堀健康福祉課長、木村学校教育課長、小宅生涯学習係長
	事務局	吉永
配布資料	新未来計画説明資料、評価指標（H27 年度。※P.5 エネルギー需給率 47.1 は策定時と算出方法が異なる。健康志向全国順位は富士通 HP からだが、データが更新されず 1 年前と同じ。黒い網掛けは町民アンケートに基づく数字）	

発言者	発言要旨
事務局	1. 職員自己紹介 2. 本会議および外部検証スケジュール・配布資料確認
教育長	3. 経営体概要説明 新ましこ未来計画推進シートシート 4「基本目標別総括シート」により、第 1・2 四半期の取組、次期への方針を説明。
委員	4. 検証 OP.63 勁い心を持つ人財の育成 「勁い心」とはどのようなものか。いろいろな経験をし、挫折、失敗を乗り越える、ハードルを越えさせてあげようということだと考えるが。
教育長	力が強いは「strong」。「勁い」としたのは、困難を乗り越える、やればできる、失敗が終わりではない、ギブアップしないという、子どものうちの様々な経験からそれらを乗り越える力を身につけることで、大人になってさらに大きな壁に直面した時に対応できるような人財を育てたいという観点である。
委員	子育て・教育アンケートの対象者等詳細について伺いたい。
学校教育課長	平成 28 年 2 月にはじめて行ったもので、中学 3 年の保護者が対象。設問は、出産から、毎日の活動、地域・学校とのかかわり方など、16 の設問。回答は 4 段階とし、成果指標の「子育て・教育をしてよかったと思う人」の割合は、「思う・どちらかと言えば思う」を対象としている。回収率は 86.8%だったが、双子・実施時期の影響などで 100%にはならなかったとみている。今年度はもう少し早い時期に実施を検討したい。

教育長	小学校入学前、中学校入学前などでも変わってくる値であるとも考えるが、義務教育の最終年度でというところで実施している。予想より多くの方が回答してくれたと考えている。
委員	受験の前後などでも変わってくるかもしれない。
委員	皆勤率について、年に 1%ずつ上げるような計画となっているが、皆勤率を上げるためにはいくつかの方策があると思う。「早寝・早起き・朝ごはん」は幼稚園・保育園などが中心とも考えるが、小学校・中学校に対しての実際の方策が難しいのではとも考える。一つに、学校自体に魅力を感じるための方策が増えるとよいとも考える。
学校教育課長	今年から「楽しい学校生活を送るためのアンケート：QU」を公費で行っている。子どもたちを取るアンケートで、クラスでの満足度を客観的に計ることができる。満足度がよければ学校生活、学力などの向上も期待できる。なかには、厳しい内容のものもあるが、徐々に上げていきたいと思う。
委員	基本的なことは小さいうちから身につけることが重要だが、小学校から中学校に上がるときに不安に思う子がいて、今までできていたことができなくなるということがある。中学校に行って対応ができなくなった子に対する対策も必要ではないか。
教育長	中学校への入学後というタイミングもあるが、本町の場合、中学 1 年から 2 年というタイミングで不登校というケースが多い。クラス替えはかなり負担があるようだ。また、7 月、夏休み明けの 9 月につまづく子もおり、なくしていきたいと考えている。中学生に対する手立ては必要だ。また、本町では小中連携の取組を強化している。
委員	小中連携とは何か。
教育長	授業や部活動での連携、体育祭、学校祭等の小学生の参加などもあり、益子小・益子西小合同でのとちぎ海浜自然の家での交流は小小連携として行っている。 外部指導者派遣事業について、事務局側は力を入れているが、すべての文化部で派遣できていない状況がある。顧問の先生の指導方針により派遣を要望しないケースがあるようだが、予想外の結果である。引き続き派遣制度は継続していきたい。
委員	入部状況はどのようになっているか。
教育長	本町では、部活のみではなく、クラブチームなどでの活動もよしとしており、何かしら活動はしている。

委員	○P.48 学びを通して社会に貢献できる人財の育成 学力テストはどのように行っているのか。
学校教育課長	小学校3年生から行っている。町単独：小3/中1、県：小4・5/中2、全国：小6/中3で実施している。
委員	小学3年から経年で追跡できる体制ということだ。
学校教育課長	委託業者・実施方法は異なるが、傾向として小学生では県・全国平均より低い、中学3年までに県・全国平均を上回る。各学校から1名の先生を学力向上検討委員会の委員とし、学力向上対策をしていただいている。
委員	以前、芳賀郡内で一番成績が低かったテストがあったと聞いたが、平均の出し方等はどのようにになっているのか。
教育長	お尋ねの件は判然としないが、町単独で行っている学力テストについて、意欲のある全国の自治体に参加している学力テストであるので、全国と比較できる。また、中学生になると、新聞社等の何某模試などもあるが、中1・2で3~4回程度、中3で8回程度ある。
委員	数字に縛られることはいかがかと思うが、指標としてとらえるということで考えていただきたい。
委員	新聞などによると、小学校では全国平均を下回っているが、中学校では全国平均を上回っている。ややもすると、小学校の先生の教える能力が低く、中学校の先生は高いととられかねないが、そうではないと考える。原因の追究はあまりすべきではない。
教育長	小学校の積み重ねがあるから、それが中学生になって生きてくると考える。
委員	英検に対する補助はよい制度だと考える。しかし、海外へ派遣できる生徒数が12名を考えたとき、その費用対効果ではないが、より多くの生徒に英語を学べる場、例えばALTを増やす、英語研修の場を増やすなどし、効果がより広く生徒にいきわたるような対策も必要と考えるが。
学校教育課長	外国語活動については、通常小学校高学年から行うこととなっているが、本町小学校が特例校の指定を受けているため、低学年から行っている。ALTは、小学校に3名、中学校に2名配置している。海外派遣については、セント・アイヴスではホームステイとしているため、受け入れ態勢という現地の状況もある。ダブリンについ

	ては今後検討していきたい。
委員	海外派遣の応募状況はどのようになっているか。
学校教育課長	毎年 40～50 名ぐらいが応募している。作文、面接を通じ決定している。ホームステイは、2 人 1 組、男男、女女のペア。
教育長	子どもたちは片言の英語でも外国人に積極的に話しかけようとしていた。できるだけ多くの子どもたちを連れて行ってあげたい。ダブリンになれば派遣できる生徒数も増えると思う。 英語の時間数が増えれば ALT も各校 1 名となることも考えている。生涯学習課で行っているイングリッシュセミナーは大変いい企画だが、応募が少ない。うまく広報などを行わなければならない。
委員	英検をはじめとし、英語に触れる機会をもっと増やしていただきたい。
委員	県内の ALT 派遣業者はどれくらいあるのか、ALT の質など信用できるのか。
学校教育課長	数社ほどあると思うが、現在の委託先は人件費については適正と考えている。また、町内の ALT については優秀な人材だと思われ、他市町から羨望されているようだ。
委員	長期間同一人物が派遣されているようだ。
委員	小中学校とも、常時 1 名いることがベスト。授業よりも雑談、おしゃべりから学ぶことが多いと思う。
教育長	先生も ALT から学び、しゃべれるようになっている例もある。
委員	今年英語弁論大会で同一の生徒が郡大会では 2 位、県大会では 1 位となった。
委員	英検 3 級から内申書には書いてもらえるということで、子どもたちも頑張っていた。
教育長	ダブリンから来年 7 月に高校 1 年生が来る。町内の受け入れ態勢を整備しなければならない。
委員	○P. 50 たくましく生きるための人財の育成 新体力テスト A 級の目標値がシートに記載されていないが。
事務局	学校教育課作成のシートに記入があるが、12%となっている。

学校教育課長	新体力テストについて、実施が1学期の早い時期に行われるため、現在体力向上プログラムを作成中で、平成29年度に完成予定であるので、効果が現れるのは早くても平成30年度の新体力テストからとなる。 体力向上プログラムは、専門の先生ではなくてもできるよう図入りで作成し、体育の時間、業間、日常的に取り入れられるようにしている。データでの配布も検討している。
委員	小学5・6年生では陸上競技記録会に参加しているが、基礎がわからず臨む子もいるのでよいと思う。
教育長	小中学校、それぞれのプログラムがある。
委員	小学校では遊びの要素がうまく取り入れられているようだが。
教育長	小学校では遊びの要素が必要である。
委員	運動部でも外部指導者制度がうまく活用されていないようだが。
教育長	文化部同様、顧問の中には自分の方針と異なるというような理由で敬遠する先生もいるようだ。
委員	活用している先生は、外部指導者をうまく活用し力になってもらおうという意識が強いのかと考える。
委員	保護者としては外部指導者を活用してほしいが、活用に消極的な先生の気持ちもわかる。
委員	顧問をする先生には、スポーツだけではなく、人間教育ができる指導者となってほしい。
委員	マシコット体操とはどのようなものか。
健康福祉課長	ラジオ体操の益子版という観点で、子どもからお年寄りまでの健康づくりの一環として広める方針で、生涯学習課と検討しながら平成29年度中に完成させたい。
委員	外部のダンス指導者などに依頼する予定はあるか。
健康福祉課長	検討したい。

委員	完成後、様々なところで披露・普及をすることとなるが、学校では授業、運動会などで方針をもって行っている。小中学校での普及を含め、運用については事前に各団体と話し合いが必要である。
健康福祉課長	検討したい。
委員	OP 50 たくましく生きるための人財の育成 新たに開設する町民大学について、現状の進捗等をお伺いしたい。
生涯学習係長	平成 10～13 年に実施したが、全く同じではない。設置の目的は、新しい若い世代から町づくりのリーダーを育てる。カリキュラムは大きく分け 3 つで、まちづくりの基礎、知識、実践で、半年で 22 コマ。前回と大きく異なる点は、着地点を町への提言（要望）ではなく、自身のアクションプランを作ること。1 コマ 2 時間、7 割受講で終了とし、受講者は每期 40 名を考えている。前回は回を重ねるごとに受講者が減少したので、その対応も考えていきたい。なお、新ましこ未来計画との整合を図るため、カリキュラムの中には本町の風土、歴史など地元を知るものも含めていく予定である。
委員	遊びの達人講座とは何か。
生涯学習係長	外遊びなどの体験活動や、生涯学習係で行っている「いきいきましこトライやるスクール」などを通じて、本町の自然環境をいかし、勁い心を育てたいと考えている。また、その指導者を探し出すことも行いたい。
委員	益子西小で行っているような昔遊びも含めているのか。
生涯学習係長	含めている。講座の応募は定員を超えるが、開催時点では減ってしまう。
委員	実施案内など工夫が必要だと考える。
委員	町民大学の学士には認定証を出すのか。認定証以外のメリットはないのか。例えば、公民館使用料半額など何かしらのメリット、付加価値があれば受講者が増えるのではないか。また、ましこ検定でも合格者への付加価値などの魅力をつけるべきと考える。
生涯学習係長	検討したい。
事務局	全般にわたってご意見等があればお伺いしたい。
委員	1 つの施策が複数の課にまたがり実施しているものが多いので、連携を十分に図っ

	て推進していただきたい。 5. 事務連絡 外部検証意見シートは、11月21日の週に提出していただければと思う。問い合わせは、各課または企画課にいただきたい。 6. 閉会
--	--

成果指標・重要業績評価指標 (KPI)

基本目標 社会的に自立した人を育てる

成果指標・KPI	基準値（現状値）		実績値					
	値	時点 (年度)	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31 2019	H32 2020
「子育て・教育をしてよかったと思う人」の割合	—	—	86.5%					
「地域・社会活動をする人」の割合	56.4%	H26	54.9%					
小・中学生の1年間皆勤率	48.8%	H26	43.7%					
「子育て支援教室に参加し満足した人」の割合	—	—	未実施					
全国学力テスト全国順位(中学3年時)	5位以内	H26	1位	4位				
中学校における英検3級取得率	14.5%	H26	23.9%					
東京オリンピック出場選手数	—	—	未実施					
小学生のスポーツクラブ参加率	—	—	56.4%					
小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合	11.0%	H26	12.2%					
町民学士認定者数	129人	H26	129人					
ましこ検定の合格者数	—	—	未実施					
遊びの達人の登録者数	—	—	未実施					

新未来計画 事前質問・回答一覧(平成28年度 上半期)

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
1	44	学校教育課	①毎日元気に登校することが一番大切である。小学校から中学校への環境の変化に耐えられない子どもに対して、どのように小学校から備えたらいいかと考える。理由は人それぞれ、人間関係、部活、勉強と何かをきっかけに崩れている気がする。	①について ご指摘のとおり、心身共に健康であることは重要。新ましろ未来計画では、政策1 未来にはばたく人財の育成 施策1 勤い心をもつ人財の育成 において様々な取り組みを行っている。
2	44		②体を動かす機会は学校での生活の中で重要であると考え。まずは少しずつでも毎日続けることがよいと思う。苦にならず、楽しくできることがよいと思う。ラジオ体操も、しっかりとやると疲れますし、ちゃんとした本当の動きはためになります(あまりきちんとできる子どもの方が少ないかもしれない)	②について 体力の向上については、主に施策3 たくましく生きるための人材の育成 において取り組みを行っている。
3	46	学校教育課	①明るいあいさつ、「早寝・早起き・朝ごはん」、朝読書、芸術鑑賞と、どれも素晴らしい内容だと思う。しかし、なかなか難しいようである。実際、朝ごはんを食べてこない子どももおり、読書が好きではなくきちんとやっている子ばかりではないようである。	①について 幼児期に、「早寝・早起き・朝ごはん」、読書習慣等が身につくような事業を取り入れ実施。学校においては、食育指導や、学校司書配置に向けた準備を始めるなど、心身の育成事業を実施し、1年間の皆勤につなげたいと考える。
4	46		②宿泊学習など、社会勉強は大きな成長を感じられる。そこでの経験は考えたり、失敗しても助け合ったりよいものである。ただ、その準備に対しての説明の仕方は先生によっても多少違うし、話を聞かない子もいるので、不安を取り除いてから出発させたいと考える。	②について 宿泊学習の実施が円滑に行えるよう、学校への支援を行う。

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
5	47	生涯学習課	①町民の役割に関し、なかなか食事を共にすることができずにいるご家庭もあると思う。会話も増えない。家庭の日という週ができたが、把握されていないように思う。この日を利用して一緒に食事をするを心掛けるよう働きかけるのはいいかがか。	①について 食事からの明るい家庭づくりも必要と思慮されるので、今後、啓発していきたい。
6	47		②町民の役割に関し、読み聞かせなどはとても良い取り組みだと思う。面白く興味を持ってもらうよう博風は大変だと思うが、このままの継続を望む。(また、リクエストなどにもこたえてもらえるとありがたいし、絵本から仲間などを学べるとよいと考える。)	②について 図書ボランティアかたつむりの会では、町内の小中学校において読み聞かせを行っており、その活動は定着してきている。引き続き、活動のサポートに努めていきたい。読む絵本の内容は、参加対象(学年)を考え、ボランティアが決めることが多いが、子供や学校からのリクエストにも応える場合もある。
7	47		③町民の役割に関し、様々な講座や教室への参加について、せっかく地元の方が協力してもらっているのに、夏休みなどにおいては、例えば(人数制限をつけて)1つ以上の参加があるといいのではないだろうか。特に、小学校低学年には父兄のボランティアについていただけたらよいと思う。	③について 生涯教育は、他人からの強制ではなく、自発的な意欲による学習活動でなければならないものである。しかし、学びたいものが学べない環境は改善していくべきである。夏休みに開催する公民館主催講座やいきいき講座主催講座の数を増やし、学びの機会の充実に努めたい。

質問番号	新未来計画ページ	担当課	事前質問	回答
8	48	学校教育課	①学力向上推進委員会の構成及び目的はどのようなになっているか。	①について 児童生徒の学力向上を目指すため、学力向上検討委員会は各小中学校の代表者により構成された委員会。委員は、学力調査の結果、分析を踏まえ各学校における学力向上対策の中心的役割を担っている他、平成27年度からは、研修会も行い、指導力向上に努めている。
9	48		②英語に力を入れることで英検に向けても増えてきているようである。 ③職場体験はとても良いと思うが、全員がやりたいことを選べるわけではないが、社会勉強にもなると考える。	②について 外国語活動については、新学習指導要領により小学5、6学年が年間35時間の必須化になったことに伴い、益子町では、平成24年度から、教育課程特例校の指定を受け、小学1学年から外国語活動を行っている。現在、外国語指導助手を小学校に3名、中学校に2名配置し、外国語に慣れ親しむばかりでなく外国の文化や生活習慣など国際理解を深める機会の提供を行っている。英語検定受検は、学習の励みになり、検定料補助は一助になっていると考える。 ③について ご指摘のとおり、キャリア教育の推進は社会的自立の大きな要因となるため、課題も踏まえ今後も学校支援を行いたいと考える。
10	48	生涯学習課	①自習室について、開設は賛成である。町の人が見守ってくれる環境にあると思う。駅舎の話も出ているようで、近くに公園があるとよいとも考える。	①について 自習室の整備については、町民活動支援センターとセットで検討中である。現在は、中央公民館とあぐり館の図書室を自習の場として認めているが、それらの部屋が満席の場合、公民館内の空き部屋を臨時学習室として開放している。

質問番号	新未来計画ページ	担当課	事前質問	回答
11	50	健康福祉課	①いきいき講座、思春期教室とはどのような内容のものか。	①について 内容は、子どもの健康づくりと食事についてや子どもの心と身体の成長について講話を実施している。
13	50		②マスコット体操は具体的にいつごろ完成予定か。	②について 平成29年度末完成に向けてスポーツ振興係と検討中。
17	50		③マスコット体操について、ダンスを教えている益子町出身者に依頼してはどうか。	③について 町内出身の体操やダンス等運動指導員の協力も検討させていただきたい。
12	50	学校教育課	①JFAこころのプロジェクト夢教室とはどのような事業か。	①について JFAこころのプロジェクト夢教室は、日本サッカー協会が主催しているもので、「夢を持つことの大切さ」、「仲間と協力することの大切さ」などを講義と実技で伝えるプログラム。小学5年生を対象に、JリーガーやOB、OG、その他種目のトップアスリート等が講師となり、前半はゲーム、後半は講師が体験談も含め夢について語り合うもの。(ゲームは、競技技術指導ではなく、全員が協力しないと目的が達成出来ないような内容のもの)
14	50		②スポーツも芸術も外部指導者を充実させてほしい。定期的にもお願いしたい。中学に入る前からやっている子もいれば、中学からスタートする子もいる。顧問の先生が必ずしも経験があったとは限らない。未経験な顧問の場合は強く要望したい。	②について ご指摘のとおり、課題も含め、今後充実を図りたい。
15	50		③小・中学校の体力作りはそれぞれ行っているようである。無理なく続けていければよいと考える。	③について ご指摘のとおり、体力づくりが無理なく身近なものとなるよう、体力向上プログラム作成に向け作成委員会を発足し、新体力テストに合わせた内容のプログラムを作成予定。合わせて、用具の配備を実施。 ・体力向上プログラム ・体力要素を高めるための運動の行い方(指導)のポイントと留意点を紹介するもので、体育専門以外、若手等の教諭でも活用できる内容。 筋力 柔軟性 敏しょう性 持久力 瞬発力 投力
16	50	生涯学習課	①チャレンジクラブも利用者数が増えているようである。利用料金などがプログラムによって大きく異なるので、手ごろな値段設定はどうか。	①について 専門的な資格を持った外部指導者を願っているプログラムもあり、料金の一律化は難しい。クラブ経営を維持していくための課題のひとつであり検討していく。

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
18	52	生涯学習課	①自分自身も益子町の歴史を習っても覚えていなかったりするので学ばなければならないが、大人になってから祇園際の由来も改めて知り、興味深いものがあつた。子どもたちにも楽しく学んでもらいたい。そして、積極的に育成会・自治会活動に参加してもらいたい。	①について ましこ町民大学は、地域のリーダー育成を目的に開設される。 カリキュラムには益子の歴史と文化財について学ぶ内容を組みこんでいる。 入学案内の広報を広く展開し、受講者の獲得に努め、卒業後、地域の活動に取り組む人材(人財)を多く輩出したい。 また、ましこ検定や歴史講座も行われるので、大人から子どもまで広く参加していただきたい。
19		学校教育課	①総括表シート4(教育長作成)における「学校生活アンケート」について、学校で子どもたちも記入し、親も記入したが、同一の内容のものなのか等を確認したいので、アンケート用紙を開示願いたい。	①について 当該アンケートについては、各学校が自校の学校経営についての検証や評価のために独自に実施しているものと思われる。結果の公表については、学校日より等で確認ができるのではないかと考える。